## 教育研究業績書

| 所属学科     | 保育学科 通信教育課程                                |
|----------|--|
| 職名•職位    | 助教   |
| 氏名(フリガナ) | 田中 眞帆(タナカ マホ)                              |
| 最終学歴     | 名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程後期課程単位取得退学            |
| 保有学位     | 修士(教育学)                                    |
| 主な職歴     | 小田原短期大学保育学科通信教育課程助教(2020年)                 |
| 専門分野     | 教育学(教育方法学、教育工学)                            |
| 研究テーマ    | 教師の実践知の共有・蓄積、教師の授業洞察力の可視化                  |
| 担当授業科目   | 教育の方法と技術                                   |
| 主な教育研究業績 | 【論文】                                       |
|          | ・「授業検討会における参加者の授業観の抽出と変容(単著)」(名古屋大学大学院     |
|          | 教育発達科学研究科紀要. 教育科学, 66(2). 2020年)           |
|          | ・「教師の実践知の共有可能性に関する研究 : 西之園晴夫の「教育技術」論に注     |
|          | 目して(単著)」(小田原短期大学研究紀要(51) . 2021年)          |
|          | 【学会発表】                                     |
|          | ・「子どもの思考を把握するための実践論文を用いた訓練教材の開発(連名)」(日本    |
|          | 教育工学会第 33 回全国大会)                           |
|          | ・「授業観の変容の機会としての授業検討会の意義(連名)」(日本教育工学会       |
|          | 2019 年秋季全国大会)                              |
|          | ・「教育専門職の授業洞察力を高めるための教材の開発の試み(1)(連名)」(日本教   |
|          | 育工学会 2020 年春季全国大会)                         |
|          | ・「教育専門職の授業洞察力を高めるための教材の開発の試み(2)(連名)」(日本教   |
|          | 育工学会 2021 年春季全国大会)                         |
|          | ・「教育専門職の授業洞察力を高めるための教材の開発の試み(3)―教師と学生の     |
|          | 回答の比較にもとづくルーブリックの提案―(連名)」(日本教育工学会 2022 年春季 |
|          | 全国大会)                                      |
|          | ・「協同的な探究における子どもの多面的・多角的な思考様式の解明―中間項を用      |
|          | いた潜在的諸要因の関連構造の明示化を通して―(連盟)」(日本教育方法学会第      |
|          | 57 回大会)                                    |
|          | 【資格】                                       |
|          | ·高等学校教諭一種免許状(国語)                           |
| 所属学会     | 日本教育方法学会、日本教育工学会、日本教師教育学会、中部教育学会           |
| 主な社会活動   |  |